

2017年度 兵庫県トライアスロン協会 第2回理事会議事録

1. 開催日:2017年11月23日(日)15:00~17:45

2. 開催場所:グリーンヒルホテル明石

3. 理事会定足数

・理事総数会長以下:総数 37人(過半数 19名)

・出席:16名

・欠席(委任状あり):15名(15名)

・合計:31名

定足数を満たし、本会議は成立する。

4. 出席者

(役員・理事)

出席:17名(水野副会長、的場顧問、渡邊理事長、仲宗根副理事長、酒井副理事長、伊藤常任理事、増本常任理事、浅田常任理事、竹中理事、松尾理事、石飛理事、大西理事、長谷川理事、脇本理事、谷井理事、川崎理事、山本事務局長)

欠席:15名(関副会長、尾崎常任理事、木倉常任理事、大原常任理事、河合常任理事、須崎常任理事、八尾常任理事、高谷理事、本多理事、田中理事、辻理事、篠原理事、藤浦理事、松永理事、岡本理事)

(オブザーバー) なし

議事録作成:山本事務局長

5. 議事内容

(1) 開会宣言:渡邊理事長

(2) 定足数の報告:山本事務局長

・理事総数会長以下:37名

・出席者 16名

欠席 15名(内 委任状 15名 委任:渡邊理事長、山本副理事長)

・合計 31名(委任状を含む)。定足数を満たし、理事会の成立を確認した。

(3) 理事長挨拶:渡邊理事長

・渡邊理事長から、開会宣言と挨拶が行われた。

・従来、第2回理事会は、播磨地区で、10月頃に開催だが、今回は、水死事故の影響で木倉常任理事の了解を得て、明石での開催とした。急な開催地変更のため、会場手配に関しては、浅田常任理事の協力を得て、当会場で開催ができることになった。

・潮芦屋大会では、残念なことに死亡事故が起きた。これを機に、事故防止委員会が発足、加西大会では、事前にしっかりと、対策を検討して、大会に臨むことができたことは、一歩前進につながった。

(4) 議長選出:規約に則り、会長代理として、渡邊理事長が議長に選出された。

(5) 報告事項

- 2017 年度会員登録数最終、2018 年度会員登録状況(山本事務局長)
 - ・資料により、報告。最終登録数は、885 名(継続 239 名、新規 646 名)、2018 年度は、11/22 現在、すでに、121 名(新規 2 名、継続 119)名となり、団体登録も 11 団体と、主要な団体は登録を完了している。
 - ・例年、登録数は右肩上がりだったが、昨年度から、伸びが頭打ち、今年度の新規登録が昨年度の新規登録数を下回った。
 - ・特にジュニア層の登録数の減少が顕著。兵庫プロジェクト等の活動を行っているにもかかわらず、大幅に減少している。

【質疑】

- これは、飽和状態にきたということか？
 - わからないが、近畿ブロック内各府県同様な傾向にある。大阪だけは、大阪城大会の影響か、一時、大幅に落ち込んでいた会員登録数が今年度、かなり回復した。
- 2017 年度各種団体行事報告 2017 年 4 月～2017 年 10 月(山本事務局長)
 - ・資料に基づき、次の項目を報告
 - ・会議開催(総会 1 回、理事会 2 回)、主催・主管大会開催 6 回、加西トライアスロン教室 1 回、日本選手権出場 4 名(全員 LAP で DNF)、強化委員会練習会、講習派遣、パトラ関係例年行事、スーパーアスリート認定選手紹介、JTU 強化指定選手紹介、医事関係、今後の行事予定
- 2017 年 HTA 主催・主管大会の実施状況及び各種データ(伊藤常任理事)
 - ・資料に基づき、各大会の参加状況、審判・スタッフの参加状況、他、各種データを報告。ローカルな大会にもかかわらず、参加者に占める兵庫県登録者の比率が下がり、他府県からの参加者が増えてきている。
- パトラトライアスロン委員会からの報告(大西パトラ委員長)
 - ・資料に基づき、パラの選手の紹介、大会参加状況、イベント・練習会等、事業実施状況の報告が行われた。
 - スタッフ、指導者共に不足している。広く活動に協力をお願いしたい。
 - ・パラの有力な新人選手が発掘されている。4 月以降のエリートパラのレースで活躍できるように、パラの認定記録会を実施したいとの提案があり、反対意見なく、了承された。JTU 富川委員長の下で、素案が固まってきているとの情報があり、12/2 の JTU パトラミーティングに参加し、実施規定の詳細情報を得る。
 - ・タンDEM自転車のパイロットには、ライセンスがある。来春、講習会を開きたいと考えている。たくさんの参加をお願いしたい。
- 技術委員会からの報告(仲宗根技術委員長)
 - ・審判資格の更新状況を報告、更新期限が、2018 年 4 月となる対象者を含めて、名簿を発表。
 - ・HTA では、最近では、2 種審判の新規には、テストを実施していないが、今期から、記述

式のテストを再開する旨の提案があり、反対意見はなく、了承された。

- 仲宗根技術委員長が、女子委員の脇本理事、松尾理事の2名は、審判実績、実力ともに十分として、来年の審判試験の際に、2種審判への進級を提案、了承された。
- メディカル委員会からの報告(谷井メディカル委員長)
 - 資料に基づき、今年度の大会での事例をもとに、メディカル委員会からの見解、提案がなされた。
 - 潮芦屋の事故を受けて、加西大会で、過去にリタイヤ歴のある選手、当日のセルフチェックシートでチェック事項がある選手に対して、横田Dr.が問診を行った。その際、要注意となった選手が、スイムのリタイヤや引き上げの対象となる事例がみられ、今回の対策が非常に有効であることが確認できた。
 - 尼崎のスポーツの森のアクアスロン大会の救護体制を笠次委員長を含めて、検討する中で、プールで小規模で実施する大会の基本方針も固まった。
- 強化委員会からの報告(山本強化委員会事務局)
 - 資料に戻付き、先日の近畿ブロック協議会で承認された日本選手権の近畿ブロック代表選考と兵庫県国体予選会について、報告。
 - 日本選手権近畿ブロック代表選考会:2018年6月17日(日)びわ湖トライアスロン近江八幡 2018 近畿ブロック選手権 1位から3位の選手
 - 兵庫県国体代表予選会:
 - 第1次予選会 2018年3月末までのJTU認定記録会(スイム&ラン)記録上位7名に最終予選会出場資格を付与。
 - 最終予選会 :2018年5月27日(日)第20回ファインキッズトライアスロン in 丹波大会兼福井しあわせ元気国体トライアスロン競技 兵庫県代表選手最終選考会 1~2位を選考、3位の選手を次点とする。
 - 2019年以降の最終予選会については、既存の近畿ブロックの大会に併設するか、県内での実施か、検討を継続する。
 - JTU認定記録会(スイム&ラン)兵庫県会場
 - 3/25(日) JTU認定記録会(スイム&ラン)兵庫県会場
 - 神戸常盤アリーナ(兵庫県立文化体育館)、アサダスタジアム
 - JTU認定記録会(スイム&ラン)京都府会場
 - 2/3(土) JTU認定記録会(スイム&ラン)京都府会場
 - 京都アクアリーナサブプール、西京極総合運動公園補助競技場
 - 強化の認定記録会を併設するかどうかは、未定。

【質疑】

- 日本選手権は、ドラフティングレースだが、近江八幡は、エイジのノンドラフティングレース。ここでの選考では、本番のレースで戦える実力のある選手が選ばれないのではないか？

→指摘の事項は、近畿ブロックの強化委員会でも議論された。昨年は、大阪城のアジアカップも対象としたが、2本立てでは最終の絞り込みが難しく議論になった。また、スイムのタイムでのカットオフも検討した。本来、実力のある選手は、ポイントランキングで出場権を獲る。ブロック代表という枠を考えると、広く機会をあたえるという趣旨から、指摘の内容も認識したうえで、ブロック理事のご意見も踏まえ、近江八幡大会の上位3名と確認した。

【質疑】

- 2018年のJTU認定記録会の開催案内が、他の会場はすでに、JTUのHPに掲載されている。兵庫も早く情報提供してほしい。理事会や大会日程も決まり次第、早い機会に情報公開をお願いしたい。

→認定記録会のJTUへの報告を、仲宗根技術委員長に依頼した。

● HTA30周年記念事業について(渡邊理事長)

- 2/25(日) 兵庫県協会30周年記念パーティ

時間：13:00~16:00

場所：神戸ANAクラウンプラザホテル(新神戸そば)

呼びかけ：会員、近畿ブロック加盟団体長・専門委員長、JTU、加盟団体(体協、生涯スポーツ連合、障害スポーツ協会)

HTA 主管・協力大会実行委員会、開催地行政代表、登録クラブ団体代表(理事以外)、JTU&HTA強化指定選手、歴代兵庫県選手権優勝者、歴代国体代表選手、協賛会社・協力会社代表など)

- 現在、渡邊理事長、増本常任理事、河合常任理事、浅田常任理事を中心に、30周年のビジュアル報告作成に向け、過去の資料を整理中。当日の司会は、脇本理事

に

依頼し、了解済み。

● HTA主催・主管大会について諸々報告等

- 加西大会(伊藤常任理事)

- 第8回加西大会は2018年9月22日~23日開催決定。

地元事務局は、スプリントの部の開催を希望。詳細は、来年3月の実行委員会で審議

- 加西大会のアンケートでは、何を見て知ったかという項目では、JTUやHTAのHPが多かったが、ルミナという答えも多かった。広く告知していきたい。

- 第1回尼崎スポーツの森アクアスロン大会(酒井副理事長、増本常任理事)

- 尼崎スポーツの森のスポーツフェスティバルのイベントの一部として、開催。

200名の募集に対して、55名の参加。親子で参加等、スポーツの森側の評価は高かったが、財務的には、大赤字で、主催者側の負担となった。

統合イベントの中の一部ということで、来年については、話ができてない。開催は、未定。

- ・参加少数の一番の要因は、告知期間が短すぎた。告知媒体等も考えたが、HTAのHPに掲載するのが、精一杯の状態
- ・運営に関しては、幸い、事故もなく終わったが、課題が多い大会だった。主催者側にアクアスロンの理解が低く、安全管理面等で理解が得にくかった。
- ・イベントに参加している競技間の相互連絡もなく、お互い、勝手にやっているという感じで、参加している観客の通行面でも危険な状況が見られた。
- ・そういうマイナス面の多い中でも55名も集まったという言い方もあり、子供達から、家族で楽しめ、交通の便もよいので、失くすのは惜しい。
- ・今回、計時のトラブルがあった。来年、ネオシステムを入れるとまた、費用の負担も増えるので、運営面でも、検討が必要。

・潮芦屋大会(渡邊理事長)

- ・残念な事故が発生した。潮芦屋の実行委員長から、ご遺族には、保険金が下りた旨の連絡があった。年内に実行委員会を開催し、来年度、大会を開催するか、少し、中断して、安全面の再確認をするかを検討する。
- ・選手の身体的要因があるとなると、残念ながら、100%事故は防げない。事故予防という味で対策を取っていく。(谷井メディカル委員長)

・明石・時感動アクアスロン大会(浅田常任理事)

- ・学生の医療班を入れたが、ストレッチャーの使い方もわからない状態だった。結果的に、多くのスタッフの手を借りる必要が出た。
- ・事前に説明をするなどして欲しい。リスクを認識し、シミュレーションすることが、重要。
- ・第7回大会の開催日は2018年7月16日(月・祝)を予定し、12月2日開催の大会実行委員会で決定する。

・事故予防対策について

- ・伊藤常任理事から、健康チェックシートの見直し依頼があり、谷井メディカル委員長に現行チェックシートを送ることになった。
- ・知り合いの医師に個人的にお願いするが、リスクの大きさに協力を得るのは、難しい。(竹中理事)
- ・医療体制は、地元の医師会を通じて、現地の医師の協力を得る体制に持っていく。主催者側が責任を持つべき。(谷井メディカル委員長)

(6) 審議事項

- 第1号議案 第31回兵庫県選手権開催について;渡邊理事長

- ・兵庫県選手権は、本年は加西大会で実施したが、村上大会と重なったことや日本選手権の近畿ブロック代表選考会が、近江八幡大会で実施されたことにより、兵庫県選手権という名実に伴わない結果となった。
- ・これを踏まえ、来年、兵庫県選手権をどの大会で実施するか、理事の意見を伺いたい。
- ・候補は、2大会。近江八幡大会と加西大会。近江八幡大会(日本選手権予選会併設)の滋賀県協会は、了承済み。加西大会事務局からは、第8回大会においても、兵庫県選手権開催の継続実施を希望。

【質疑】

- ・加西大会の時期を5月頃に変更できないか？国体の予選会としても有効と思える。
→加西のスイム会場の池は、農業施設として利用しているので、田植え時期との関係があり、不可
- ・参加する選手の意見も聞いてみてはどうか？
→強化指定の選手の意見も聞いてみる。

【結論】

- ・多数決にそぐわないかもしれないが、挙手で、近江八幡9名、加西5名となった。
理事会の意見を元に、執行部に一任として、了解を得た。
- 第2号議案 理事改選の規約改正;渡邊理事長
 - ・2017年4月の総会にて、執行部預かりとなっている規約の理事改選について、執行部案を提示し、審議した。
 - ・今回の執行部預かり部分の改定案は、③の推薦人2名以上の推薦人として認められるのは、どのような立場の者かという議論。本会が加盟する団体は、JTU、兵庫県体育協会、兵庫県生涯スポーツ連合、兵庫県障害スポーツ協会。
- ・そのほかの4月の総会の決議済み部分も含めて、朱書き部分が改定箇所。

○議案 規約改定について

第4章 会員および役員 第3条 役員の選任

第3条 役員の選任

第一項 本会の理事および幹事は、登録会員のうちより総会で選任し、理事は互選で会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事および財務担当理事を定める。

第二項 理事および監事は、自薦・他薦により、下記の条件を満たしたうえで、常任理事会で承認し、総会で選任する。

理事および監事に立候補する場合は、総会開催の前年の12月31日までに、本会事務局へ、以下の書類を提出しなければならない。

①候補者の経歴及び志望動機

②過去2年における本会活動に参加した実績報告(箇条書き可)

③推薦人 2 名以上(本会理事および本会が加盟する団体長の推薦も含む)の推薦状
(書式は問わない)

【質疑】

・理事の選任は、総会決議となっているが、総会の定足数は、総会開催通知時点の登録
会員の6分の1以上とし、議決は出席会員の過半数とするという数字をクリアできるの
か？

→但し書きで、委任状による出席者を含むとなっているので、定足数を満たし、参加者の
過半数で決議できる。

・解任については？

→まずは、選任の規定を明確にして、今回、規約を改定する。次に、解任の規約の見直し
も検討中。酒井副理事長から、検討中の案のアウトラインが報告された。

【結論】

・執行部案にて、承認された。基本は、2016 年度の総会で、承認されている。

・今回の理事会で、執行部預かり部分の修正が承認されたので、規約の改定を実施し、HP
にて、告知する。

●第 3 号議案 丹波大会の継続に関して;渡邊理事長

・丹波大会実行委員長大原常任理事との 11 月 5 日打合せの内容を報告。

現状では、継続は難しい状況。役所や警察との関係もあり、大原常任理事に代わる地元の
キーマンが必要。

残念だが、積極的に協力を申し出る人が出なければ、2018 年で幕をおろさざるを得ない。

・2018 年の第 20 回丹波大会は、5 月 26 日(土)～27 日(日)に開催する。

(7)閉会宣言(水野副会長)

・2017 年度の理事会、総会は、2018 年 4 月 1 日(日)に決定。会議室の予約を入れる。

・現在、後継者の伊藤常任理事に業務を引継ぎ中だが、引継ぎには、最低 2 年は必要。
それぞれ、若い人に引き継げるように、早めに準備頂きたい。

(8)会議予定

・2017 年度第 1 回 常任理事会

開催日 2018 年 1 月初旬

・2017 年度第 3 回理事会及び総会

開催日 2018 年 4 月 1 日(日)

・2018 年度第 1 回理事会

開催日 2018 年 5 月 26 日(土)

以上